

## 「国際的な都市政策に関する研究」についての募集

2025 年 6 月 27 日

国際的な都市政策に関する研究編集委員会  
(国土交通省都市局国際・デジタル政策課内)

国土交通省都市局国際・デジタル政策課では、(公社)日本都市計画学会と連携し、下記の要領で「国際的な都市政策に関する研究」をテーマとするセッションを企画しております。

我が国の都市政策においては、例えば、諸外国におけるウォークアブル施策やプレイスメイキングなどの取組を参考にしつつ、「歩きたくなる」まちづくりに関する施策展開を行っています。また、2024 年 11 月にイタリア・ローマで開催された「G7 都市大臣会合」においては、各国大臣の共同行動として各国の都市政策に関する経験や知識の共有を行う旨が盛り込まれるなど、諸外国における都市政策の最新動向を把握し、必要に応じて我が国施策の参考にすることが一層重要になっております。

そうした中で、国土交通省（都市局国際・デジタル政策課）では、今般、諸外国の都市政策動向のうち、例えば以下のような政策課題に対応する研究を募集し、(公社)日本都市計画学会と連携した発表機会の提供と表彰を行うことで、それら研究を奨励するとともに情報交換の機会を得ることと致しました。

< 国際的な課題と認識されている都市政策の例示（都市政策の優先課題） >

- ・ ネットゼロ・レジリエント・ネイチャーポジティブな都市政策
- ・ 再生可能エネルギーの導入加速、エネルギー再利用・リサイクルのあり方
- ・ 都市・地域における文化財・文化遺産等の文化価値の創造・保存
- ・ 社会的弱者・高齢者等に対する社会的インクルージョン、住まいのアフォーダビリティの確保
- ・ 都市・地域におけるデータプラットフォーム、デジタルツイン、AI 等のデジタル技術を活用したスマートシティの構築
- ・ 先進的な機関や企業がスタートアップや教育機関と集結する都市のエコシステム形成によるイノベーションの創発
- ・ AI の進展に伴う発電所、データセンター等の都市・地域における立地のあり方

(参考資料：G7 イタリア都市大臣会合コミュニケ・概要)

[https://www.mlit.go.jp/toshi/daisei/toshi\\_daisei\\_tk\\_000085.html](https://www.mlit.go.jp/toshi/daisei/toshi_daisei_tk_000085.html)

### 【日程・会場】

○大会期間：2025 年 11 月 14 日（金）～ 16 日（日）

（上記期間のうち、当該セッションは、15 日（土）の午後、2 時間程度を想定）

○発表会場：芝浦工業大学 豊洲キャンパス（東京都江東区豊洲 3-7-5）（予定）

（原則対面を予定）

**【発表に関する事前審査と研究アブストラクトの提出】**

・発表に関する事前審査と研究アブストラクト集の作成のために、発表希望者には図を含む研究アブストラクトを期日までに提出していただきます。発表を希望される方は、下記を熟読のうえお申し込みください。

○原稿投稿締切： 2025 年 8 月 29 日（金）

- ・提出された研究アブストラクトは、以下の審査・評価項目に合致しているかどうかを、事前に審査させていただきます。
- ・審査は、国土交通省職員と（公社）日本都市計画学会の学識経験者が合同で行います。

**< 審査・評価項目 >**

国際的な都市政策動向を適切にとらえ、我が国での政策形成に活かす目的より、主に以下の観点から審査・評価を行います。

- ・諸外国の都市政策について新たな発見があること（既存研究や文献を踏まえ、新規性を明記していること）
- ・日本の都市政策への示唆に関する言及があり、その導入などに一定の意義と可能性が存在していること
- ・商業目的への過度な偏りがないこと
- ・指定された原稿の様式に合致していること

**【発表者の特定、発表当日の審査・評価項目について】**

- ・事前審査を通過した場合、発表予定者に対して、会場、時間等を事前にご連絡させていただきます。
- ・発表当日は、研究発表について、最優秀賞 1 点、優秀賞若干数の表彰を現地で行います（いずれも賞名は今後決定します）。
- ・事前審査を通過した発表予定者で、当日の発表が実施不可能な場合、発表スライドのみを当日までに送付いただければ幸いです。

**【発表者・発表様式について】**

- ・連名による研究の場合、第一著者が当日の発表者となることを原則とします。また、多くの方に発表頂く機会を確保するため、第一著者が同一である投稿は 2 件までとさせていただきます。
- ・発表資料は、マイクロソフト・パワーポイントでスライドサイズ 16：9 にて作成してください。発表時間は 10 分程度を想定しています。発表資料は発表時間に即した適切な分量とすることをお願いします。（正確な発表時間は当日までに事務局より指定）

**【研究アブストラクト・発表資料について】**

- ・研究アブストラクト及び発表資料は、どちらも後日一般に公開する扱いとさせていただきます。出典等の明記にご留意ください。

- ・研究アブストラクトは、研究紹介のためのリーフレットであり、図表を活用するなど、ビジュアル的に分かりやすくすることに留意してください。
- ・提出された研究アブストラクトが指定した様式と大きく異なる場合や図表の可読性に問題がある場合には、修正をお願いすることがあります。なお、様式等の軽微な修正を事務局側の判断で行う場合があることをあらかじめご了承ください。
- ・発表資料は、発表日の1・2週間程度前までに事務局に送付してください（詳細な締め切りは別途指定します）。発表に関する参考資料（論文等）がある場合には、発表資料提出と同じタイミングでpdf形式にて送付してください。

#### 【研究アブストラクトの提出方法】

- ・発表申し込み、研究アブストラクトの提出は、事務局宛メール（[cityplan@hip-ltd.co.jp](mailto:cityplan@hip-ltd.co.jp)）にてお願いします。
- ・研究アブストラクトは MS-WORD ファイル(.docx)と PDF ファイルで提出してください。
- ・提出するファイル名は、代表者の氏名のローマ字としてください。その際、氏名の記載は姓名の順とし、例えば KokudoTaro.docx のようにしてください。

#### 【研究アブストラクトの執筆要領】

- ・必ず原稿テンプレートを利用して、作成ください。原稿テンプレートは、上記メール宛てご連絡を頂ければ、お送り致します。
- ・原稿の中で使う図は、400dpi 以上の解像度のものを利用してください。
- ・詳細は、以下並びに原稿テンプレートをご確認ください。
- ・ページ数：A4 サイズ 2 ページ
- ・余白設定：上：25mm、下：18mm、左：20mm、右：20mm
- ・段組：
  - タイトル・氏名・所属・メールアドレスの部分は「1 段」
  - 本文は「2 段」
  - 図は「1 段」あるいは「2 段」（1 段が望ましい）
- ・文字の向き：横書き
- ・フォント：
  - タイトルは「日本語 MSP ゴシック 12pt 太字」
  - 著者名及び所属は「日本語 MS P ゴシック 10pt」
  - 小見出し(1)~(3)は「日本語 MSP ゴシック 10pt 太字」、(4)(5)は「日本語 MSP ゴシック 9pt」
  - 本文は「日本語 MSP 明朝 10pt、英数字 Times New Roman 10pt」、小見出し(4)(5)は「日本語 MSP 明朝 9pt」
  - 図表のキャプションは「MSP ゴシック 9pt」
- ・句読点は、コンマ (,) とピリオド (.) を用いてください。
- ・ご所属は、大学の場合、学部・研究科等まで記載してください(学科までは不要)。  
企業・省庁・自治体等の場合は組織名を記載してください。

- ・アドレスや URL などのハイパーリンクは付けないでください。

#### 【研究アブストラクトの小見出し】

以下の小見出しタイトルの順に記載してください。

- (1) 背景
- (2) 対象国の政策紹介・特徴
- (3) 我が国都市政策への示唆又は適用可能性
- (4) 補注 ※必要な場合
- (5) 引用・参考文献

- ・小見出しは、"**1. 背景**"の形式で、太字・ゴシックにしてください。
- ・原稿は日本語で執筆してください。
- ・図のキャプションは、"図 1：あああ"の形式で図の下に、表のキャプションは、"表 2：いいい"の形式で表の上に記載してください。
- ・研究アブストラクト集は、カラーでの公表を予定しております。この点を考慮して図表を作成ください。
- ・発表者の名前の前に「○」を記載してください（原則は、第一著者が発表者）。

<お問い合わせ先>

ご不明点がある場合は、【[cityplan@hip-ltd.co.jp](mailto:cityplan@hip-ltd.co.jp)】までお問い合わせください。